

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

2018年3月21日	
所属部局・職	公益財団法人日本モンキーセンター 所長秘書
氏名	平口愛子

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
鹿児島県 屋久島
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
日本モンキーセンター 生息地研修 屋久島
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
2018年3月8日 ~ 2018年3月11日 (4日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
京都大学野生動物研究センター 屋久島観察ステーション
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)

写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。

<p>目的 ヤクニホンザルの生息地を訪れ、サルとシカと、それらを取りまく環境を観察する。日本モンキーセンターが社会において果たすべき『自然への窓口』という役割を理解する。 同行者 赤見 田中 根本 舟橋</p> <p>学術部と附属動物園部のフィールド経験豊富なスタッフ4人と一緒に、サルの暮らす森にお邪魔して、自由に動き回ることのできる環境の中でのサルやシカの行動を観察した。檻の外側から眺めているのとは異なる、彼ら本来の存在を実感することができた。</p> <p>この世界に足を踏み入れたばかりでフィールドの基礎知識を持たない私には、最初は、野生のサルが道路にあらわれただけで、ただうれしかった。各専門分野で、広い知識を持つ同行のスタッフ4人の会話を聞くことで、目の前にある風景の中からより多くの情報を受け取ることができたと感じた。</p> <p>野生動物の観察はもちろん、移動や食事などを共にして、同行のスタッフと一緒に多くの時間を過ごすことができ、生き物や自然への深い思いと、動物に関わる仕事への真剣な姿勢を知ることができたことも、大きな収穫だった。</p>	日程	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日
	6:00	移動	4:30~移動	起床・朝食	起床・朝食
	7:00				清掃・片付け
	8:00				西部林道のサル観察
	9:00				メヒルギ見学
	10:00	移動	2班に分かれ針広混生樹林群のサル探索	PWSハウス 清掃・窓ふき メール対応	猿川ガジュマル
	11:00				トローキの滝
	12:00				昼食
	13:00				土産屋
	14:00	買出し	(赤見さんと一緒に)	ウミガメ産卵地 周辺を散策	移動
	15:00	移動	屋久杉自然館見学		
	16:00	西部林道でサル観察	夕食		
	17:00	夕食	PWSハウス清掃・メール対応		
	18:00	活動まとめ	移動	夕食	移動
19:00	中川先生らと交流	活動のまとめ	活動のまとめ		
20:00	～	就寝	PWSハウス		
21:00			清掃		
22:00					
23:00					

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

(一日目)



西部林道で最初に見つけたサル群れ。
人がいても気にせず、ばらばらと道を横断していく。



植物の葉を食べるサルたち



ピッタリ寄り添って歩いてくる二頭。私たち観察者がいても気にせず道路の上で毛づくろいを始める。

(二日目)



広混生樹林群で見つけた群れ。人工物の金網の上で、座りやすく、日光浴に最適な場所の様子。暖かな日差しが気持ち良さそう。



「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



小さな子供が、一人で動き回り、シダを食べている。時々、少し不安そうな声をだしているのが気になる。



枯れたシダだけを選んで食べる若者

(四日目)



サル群れを追って、西部林道から少し山に入る



サルとシカが共存。お互いの存在を認識しているが、気にしていない様子。



6. その他 (特記事項など)

本研修は京都大学霊長類学・ワイルドライフ・リーディング大学院の支援を受けて実施されました。松沢先生、伊谷先生には、このような研修に参加させていただく機会をいただいたことに感謝しております。研修の手配をしてくださった左海様、準備段階から様々なアドバイスをいただいた WRC、PWS、JMC の皆さまにもお礼申し上げます。

PWS ハウス屋久島は、設備が整っていて、おかげさまで、とても快適に滞在することができました。